

学校歯科検診パネル (レベルアップⅡ)の活用法

宮城県学校歯科委員会

浅沼 勝

レベルアップⅡ

学校歯科健診パネル



制作 社団法人 宮城県歯科医師会 学校歯科委員会

児童生徒健康診断票

氏名		性別		男		女		生年月日		平成		年		月		日																
年	平	1 顎	2 歯	3 歯	4 歯	5 歯式																6 永久歯のむし歯の状態	7 歯の状態		8 その他の疾病及び異常	9 学 校 歯 科 医 事						
成	年	関	列	垢	肉																		乳 歯	永久歯		所	月	後				
度	節	咬	の	の	状																		現 在	未 処 置	現 在	未 処 置	喪 失	見	日	措		
齢	合	合	状	状	態																		歯 数	歯 数	歯 数	歯 数	歯 数		置			
例1 小学生	7 歳	① 1 2	0 ① 2	0 ① 2	0 1 ②	8 上 下	7 右	6 5	5 4	4 3	3 2	2 1	1 X	1 X	2 A	3 A	4 B	5 C	6 D	7 E	8 F	⑥ G	7 H	8 I	⑦ J	0 ① 2	14 0 3	10 1 1	0 0 0	CO G	4 月 10 日	2
例2 中学生	12 歳	① 1 2	0 ① 2	0 ① 2	0 ① 2	8 上 下	7 右	6 5	5 4	4 3	3 2	2 1	1 X	1 X	2 A	3 A	4 B	5 C	6 D	7 E	8 F	⑥ G	7 H	8 I	⑦ J	1 0 0	27 0 0	0 0 0	GO 先欠・ 過剰歯の 疑い (裏シトケ)	4 月 21 日	1	
例3 高校生	18 歳	① 1 2	0 ① 2	0 ① 2	0 ① 2	8 上 下	7 右	6 5	5 4	4 3	3 2	2 1	1 X	1 X	2 A	3 A	4 B	5 C	6 D	7 E	8 F	⑥ G	7 H	8 I	⑦ J	0 1 2	28 0 1	0 0 0	CO G 反対咬合	5 月 17 日	2	

顎関節異常の検出基準

1 あご 顎の検査

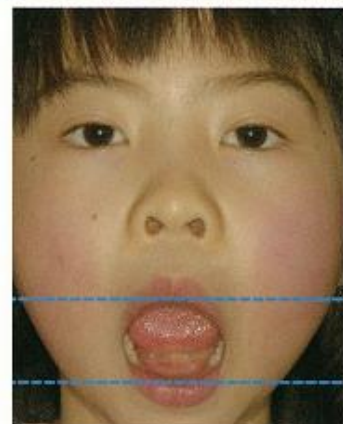
0… 異常なし

1… 要 観 察

開・閉口時に、下顎が左や右に偏位したり
雑音（パキン、ザラザラなど）がでたりする。

2… 要 精 検

開・閉口時それ以外でも顎関節や咀嚼筋に痛みがある。
2横指以下の開口障害がある。



異常あり
の場合

口の中の診査の前に、まず顔の
対称性、口の開き具合、雑音の
有無、顎の偏位などの診査をする

顎の診査



顎関節の動き、咀嚼筋の状態
開口量などを診査する

インフォメーション

顎関節症

①、②の症状を伴います。宮城県の調査では他の学年に比較して中3、高3でその割合が
高い値を示しました。このことは受験期の心身的な疲労やストレスが関係していると考え
られます。その他、うつぶせ寝、頬杖、爪かみなども原因とされているので、注意しましょう。



上の顎の正中に対し下の顎の正中が左側にずれる

開口障害の基準



2横指以下：2本の指が縦に入らない。
(3才～15才：37mm以下、16才以上：40mm以下)

1 顎	2 歯列	3 歯垢	4 歯肉
関	・	の	の
節	咬	状	状
	合	態	態
①	0	0	0
1	①	①	1
2	2	2	②
①	0	0	0
1	①	①	①
2	2	2	2
0	0	0	0
①	1	①	1
2	②	2	②

歯列・咬合異常の検出基準

2 歯ならび・かみ合わせの検査

① インフォメーション INFORMATION

デンタルミラーの直径……16 mm

ホルダーの太さ…6 mm

① … 異常なし

② … 要 観 察 軽度な不正咬合があって、定期的な観察が必要。

③ … 要 精 検 かなり重度な不正咬合があって矯正治療を要する。
本人・保護者から矯正治療の相談があり、専門的な診断が必要。



前歯部が反対咬合であるが、永久歯交換まで経過観察



反対咬合：3歯以上の反対咬合



叢生：歯冠幅径の1/4以上が重なっている



②が舌側転位しているが経過観察



上顎前突：オーバージェット 8mm以上
(デンタルミラーの直径の1/2程度)



正中離開：1|1に6mm以上の空隙



③3|3の萌出余地不足が心配されるが経過観察



開咬：上下切歯間に6mm以上空隙
(デンタルミラーのホルダーの太さ)

その他

過蓋咬合

交叉咬合

鉄状咬合

1歯のみでも著しい咬合異常

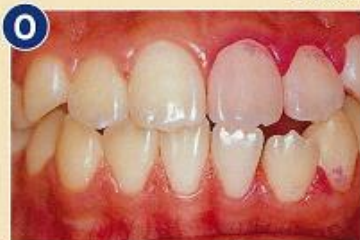
① 顎関節	② 歯列・咬合	③ 歯垢の状況	④ 歯肉の状況
① 0	0	0	0
1 ①	①	①	1
2 2	2	2	②
① 0	0	0	0
1 ①	①	①	①
2 2	2	2	2
0 0	0	0	0
① ①	1	①	1
2 ②	②	2	②

歯垢の状態の検出基準

3 しこう 歯垢の検査

前歯部唇面で主に視診によって次の基準により歯垢の付着状態を判断する。

- ① … 良 好 ほとんど歯垢の付着を認めない。
- ② … 若干の付着 歯面の1/3以下に歯垢の付着が認められ、
刷掃指導を要する。
- ③ … 相当の付着 歯面の1/3を越えて歯垢の付着が認められ、
(萌出途中の歯牙に多量の歯垢の付着がみられる場合も含む) 刷掃指導や健康相談を行う必要がある。



ほとんど歯垢の付着がみられない



1/3以下の付着がみられる



1/3以上の付着がみられる



萌出途中の第1大臼歯咬合面に
歯垢の付着がみられる

インフォメーション 歯垢(プラーク)

歯の表面や歯と歯の間などに、白いものがついていませんか？それが「歯垢」です。歯垢は、口の中で繁殖した細菌が、水にとけにくいネバネバした物質とともに、歯に付着してできたものです。いわば細菌のかたまりです。
1mgの歯垢に、1億個以上の細菌が生息しています。

1 顎 関 節	2 歯 列 ・ 咬 合	3 歯 垢 の 状 態	4 歯 肉 の 状 態
①	0	0	0
1	①	①	1
2	2	2	②
①	0	0	0
1	①	①	①
2	2	2	2
0	0	0	0
①	1	①	1
2	②	2	②

注) 左から3枚の写真は左側のみ歯垢染色しています。

歯肉の状態の検出基準

4 歯肉の検査

0 … 異常なし

1 … 要観察

歯垢の付着と軽度の歯肉炎が認められるが、歯石の付着はない。

GO (歯肉炎+, 歯石-) = 歯周疾患要観察者

2 … 要精検

歯肉炎が認められ、歯垢・歯石の付着を伴う。歯周炎に進行している。

G (歯肉炎±, 歯石+), P 歯周炎

健康な歯肉



炎症のある歯肉 (歯肉炎)



そう生により一部に歯肉炎がみられる



全体的に歯肉炎がみられる



歯肉炎から歯周炎へ移行



若年性歯周炎

1 顎関節	2 歯列咬合	3 歯垢の状態	4 歯肉の状態
0	0	0	0
1	1	1	1
2	2	2	2
0	0	0	0
1	1	1	1
2	2	2	2
0	0	0	0
1	1	1	1
2	2	2	2

歯式

5 歯式

- ・現在歯：口腔内に歯が存在する場合には現在歯とする。
健全歯は斜線が連続横線で消す。 $B \ 1 \ 1 \ 2 \quad B \ 1 \ 1 \ 2 \quad -B-1-1-2-$
- ・むし歯：処置歯 (○) ・修復が完了している歯。
乳歯のサホライド塗布歯は処置歯とし (⊕) と記入
未処置歯 (C) ・治療を要するむし歯のある歯。
治療中の歯
- ・喪失歯 (△)：むし歯が原因で喪失した永久歯。
(△)：むし歯以外で喪失した永久歯。(外傷・矯正治療等)
- ・要注意乳歯 (×)：晩期残存し、後継永久歯や歯列に障害を及ぼす恐れのある乳歯。(現在歯に含む)
- ・要観察歯 (CO)：初期むし歯を疑わせる永久歯。(主として視診で行い、健全歯として扱う)
- ・シーラント処置歯 (⊙)：健全歯として扱う。



⊙ シーラント



⊕ サホライド



要注意乳歯



CO
明瞭な白濁 (脱灰) があるが、適切な管理で白濁は消えている (再石灰化)



7年後



8年後

小窩裂溝に着色がみられるが、適切な指導や定期健診により状態の変化はない

その他の
CO



【要注意乳歯】

晩期残存し、後継永久歯や歯列に障害を及ぼす恐れのある乳歯。(現在歯に含む)

「学校歯科医の活動指針」
〈改定版〉日本学校歯科医会
平成19年3月

5 歯式																			
・現在歯 (例 A B) ・むし歯 未処置歯 C 処置歯 ○ ・喪失歯 (永久歯) △ ・要注意乳歯 × ・要観察歯 CO																			
8	7	CO	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	⊙	7	8				
上 右		⊗	⊗	⊗	⊗	⊕	A	A	⊕	⊗	⊗	⊗	⊗	左 上					
下		⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	A	A	B	⊗	⊗	⊗	⊗	下					
8	7	⊙	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	⊗	7	8				
上 右		E	D	C	B	A	A	B	⊗	D	E		左 上						
下		E	D	C	B	A	A	B	C	D	E		下						
8	7	⊙	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	⊙	7	8				
上 右		E	D	C	B	A	A	B	C	D	E		左 上						
下		E	D	C	B	A	A	B	C	D	E		下						
8	7	⊙	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	⊙	7	8				
上 右		E	D	C	B	A	A	B	C	D	E		左 上						
下		E	D	C	B	A	A	B	C	D	E		下						
8	7	⊙	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	⊙	7	8				

永久歯のう歯の状態

6 永久歯のむし歯の状態

CO：要観察歯

→ 要観察歯があれば○を付ける。

0：むし歯無し、もしくは治療済み

1：軽度のむし歯（C1、C2）

2：重度のむし歯（C3、C4）

いずれかに○を付ける。

同一人に軽度、重度のむし歯がある場合は
重度2の方に○を付ける。

インフォメーション スポーツリンク

中学3年生 男子 柔道部

スポーツリンクによるCOからC3
に及び多発性のむし歯がみられます。
飲み方に注意が必要です。
この評価は2:重度のむし歯となります。



氏名				性別	男	女	生年月日	平成	年	月	日	
年	平	①	②	③	④	⑤	⑥ 歯の状態					
成	年	顎	列	垢	肉	式	⑦ 歯の状態					
度	節	関	・	の	の	・ 現在歯 (例 A B)	⑧ その他の疾病及び異常					
年齢	合	咬	状	状	状	・ むし歯 未処置歯 C	⑨ 学 校 医 生					
	態	状	状	状	状	処置歯 ○	⑩ 事後措置					
	態	状	状	状	状	・ 喪失歯 (永久歯) △						
	態	状	状	状	状	・ 要注意乳歯 ×						
	態	状	状	状	状	・ 要観察歯 CO						
例1	7	①	①	①	①	8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8						
小学生	歳	1	1	1	1	上 右 E D C B A A B C D E 左 上 0						
	年	2	2	2	2	下 E D C B A A B C D E 下 1						
例2	12	①	①	①	①	8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8						
中学生	歳	1	1	1	1	上 右 E D C B A A B C D E 左 上 1						
	年	2	2	2	2	下 E D C B A A B C D E 下 2						
例3	18	①	①	①	①	8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8						
高校生	歳	1	1	1	1	上 右 E D C B A A B C D E 左 上 0						
	年	2	2	2	2	下 E D C B A A B C D E 下 1						

7 歯の状態 (永久歯)

D : 未処置歯 (C) M : 喪失歯 (△) F : 処置歯 (○)

$$\text{1人平均DMF歯数} = \frac{\text{受検者全員のDMF歯の合計}}{\text{被検者数}} \quad (\text{本})$$

※12歳児とは**中学1年生**なので注意しましょう。

[illegible]

その他の疾患

8

・その他の歯の疾患



・軟組織の異常



生年月日		平成		年		月		日				
⑥ 永久歯のむし歯の状態		⑦ 歯の状態						⑧ その他の疾病及び異常		⑨ 学 校 事		
		乳 歯			永久歯			喪失歯数	所 見	月 日	後 措 置	
		現在歯数	未処置歯数	処置歯数	現在歯数	未処置歯数	処置歯数					
00	0	14	0	3	10	1	1	0	ゆ合歯	CO G	4月10日	2
①	2									GO	先欠・過剰歯の疑い(裏レントゲン)	4月21日
CO	0	1	0	0	27	0	0	0	口内炎	CO G	5月17日	2
①	2	0			28	0	1	0		反対咬合		

学校歯科医所見

9 学校歯科医所見・押印

- ・CO、GO、G、上顎前突、下顎前突、先欠・過剰歯の疑い(要レントゲン) など
- ・月日

氏名	年 平 成 年 度	① 顎 関 節	② 歯 列 咬 合	③ 歯 垢 の 状 態	④ 歯 肉 の 状 態	⑤ 歯 式	⑥ 永久歯のむし歯の状態	⑦ 歯の状態						⑧ その他の疾病及び異常	⑨ 学 校 歯 科 医 所 見			⑩ 事 後 措 置	
								乳 歯			永 久 歯				喪失歯数	学 校	月		日
								現在歯数	未処置歯数	処置歯数	現在歯数	未処置歯数	処置歯数						
例1 小学生	7 歳	① 1	① 1	① 1	① 1	・現在歯 (例 A B) ・むし歯 未処置歯 C 処置歯 O ・喪失歯 (永久歯) Δ ・要注意乳歯 × ・要観察歯 CO	⑥ 7 8	0	14	0	3	10	1	1	0	CO	G	4 月 10 日	2
例2 中学生	12 歳	① 1	① 1	① 1	① 1	8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8 上 右 E D C B A A B C D E 左 上 下 E D C B A A B C D E 下	⑥ 7 8	0	1	0	0	27	0	0	0	GO	先欠・過剰歯の疑い(要レントゲン)	4 月 21 日	1
例3 高校生	18 歳	① 1	① 1	① 1	① 1	8 7 6 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 6 7 8 上 右 E D C B A A B C D E 左 上 下 E D C B A A B C D E 下	⑥ 7 8	0	0	28	0	1	0	0	CO	G	反対咬合	5 月 17 日	2

事後措置

10 事後措置 (学校においてとるべき事後措置)

0、1、2 で記入する

0… 特段の事後処置を要しない者

1… 学校における保健指導や健康相談等を行う者

2… 医療機関で精密検査・治療が必要な者

氏 名		性別				生年月日		平成		年		月		日																			
年	平	1	2	3	4	5 歯 式																6	7 歯の状態					8	9		10		
成	年	顎	歯	歯	肉																	永久歯のむし歯の状態	乳 歯	永久歯	喪失歯数	その他の疾病及び異常	学 校 歯科医	事後措置					
度	節	関	列	垢	の																	現在歯数	未処置歯数	処置歯数	現在歯数	未処置歯数	処置歯数	見	日	置			
齢	合	咬	の	の	状																	現在歯数	未処置歯数	処置歯数	現在歯数	未処置歯数	処置歯数	見	日	置			
	態	状	状	状	態																	現在歯数	未処置歯数	処置歯数	現在歯数	未処置歯数	処置歯数	見	日	置			
例1	小学生	7	0	0	0	8	7	GO	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	CO	14	0	3	10	1	1	0	CO	G	4月10日	2
例2	中学生	12	0	0	0	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	CO	1	0	0	27	0	0	0	GO	先欠・過剰歯の疑い(レントゲン)	4月21日	1
例3	高校生	18	0	0	0	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	CO	0			28	0	1	0	CO	G	5月17日	2

チェックリスト

□ 健診の前に…

□ 学校関係者との打ち合わせ

次年度の学校保健安全計画が決まったら、学校歯科医に日程を報告して下さい。遅くとも1ヶ月前に健診日の日程、帯同者の数、記録者などについて打ち合わせを行なって下さい。

□ 健診会場の整備

明るい場所（南側の窓に近いところ）无影ライトを使用するとよいでしょう。記録者が健診者の声を聞こえやすい机の配置にしたり、待っている児童生徒が歯科用パネルなどを見れるように工夫します。

□ 記録者

担任の先生が記録者になりましょう。クラスの口腔内の状況が把握できます。事前に記入方法等について、学校歯科医に研修を受けるとスムーズに行なえます。

□ 検査器具とその消毒

ミラー200本（半日使用分）、探針、ピンセットを各々30本程度用意しましょう。消毒方法は煮沸消毒、オートクレープによる滅菌、適正な薬液消毒で行います。健診者の使用する手指の消毒液やデンタルグロブも用意します。

□ 事前調査票

過去や現在の口、歯の状態や質疑などについて家庭で記入してもらい健診の参考にします。



□ 健診の日…

□ 健診の前に歯みがき

健診当日は児童生徒に歯ブラシを持参させ、健診前に歯みがきをさせます。口の中がきれいになることで正確な健診ができ、時間も短縮されます。

□ 事前の保健学習・指導

健診前の保健学習や保健指導は児童生徒に緊張感が生まれ、又意識の高揚もあるので効果的です。

□ 歯ブラシの有効利用

持参した歯ブラシを健診者が使用することで正確な診断が可能になります。宮城方式として勧めています。



□ 健診の後に…

□ 個別指導

養護教諭・クラス担任・学校歯科医・歯科衛生士などが行なう指導
おし歯の多発、重度の歯肉炎、口腔衛生状態の不良、前年度より口腔内状況の悪化がみられる児童生徒などを対象に行なう。
宮城県では41%の学校で個別指導が実施されています。

□ 歯科相談

保護者や本人からの相談に対し、学校歯科医や養護教諭が対応に応じます。健診時に事前調査票などをもとに本人に回答する場合があります。

□ 統計

健診後、統計のとりまとめを行ない経年的に比較しましょう。
宮学保健研究収録別冊/歯・口の調査結果の分析と今後の課題を活用して下さい。

□ 学校保健委員会

宮城県では70%の学校歯科医が、学校保健委員会に出席しています。健診結果等に関し、意見をうかがい、次年度の学校保健安全計画の参考にして下さい。



制 作 社団法人 宮城県歯科医師会 学校歯科委員会

写真提供 宮城県歯科医師会 会員（中條 幸一・山形 光孝・阿部 清一郎・江澤 庸博）

仙台市立高森小学校・仙台市立中山中学校・仙台市立八本松小学校・登米市立柳津小学校・亶理町立亶理小学校

歯・口腔の健康診断パネル②、⑤、⑥（日本学校歯科医会）より一部引用

歯肉の状態から健康づくりを見直そう（財団法人 日本学校保健会）より一部引用

宮城県歯科医師会ホームページ URL:<http://www.miyashi.or.jp>